

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 12 月 28 日 (2006.12.28)

【公開番号】特開 2001-144005 (P2001-144005A)
 【公開日】平成 13 年 5 月 25 日 (2001.5.25)
 【出願番号】特願 平 11-326318
 【国際特許分類】

H 0 1 L 21/027 (2006.01)

F 1 6 F 15/02 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 21/30 5 0 3 F

F 1 6 F 15/02 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 11 月 15 日 (2006.11.15)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】請求項 1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【請求項 1】 半導体露光装置を装置支持手段を介して搭載する架台を架台支持手段を介して建屋床に接続する半導体露光装置の架台支持方法において、前記架台および前記架台支持手段を、前記架台の質量と前記架台支持手段の剛性の積が $3 \times 10^{11} \text{ [kg/s]}^2$ より大きく $6 \times 10^{12} \text{ [kg/s]}^2$ より小さい範囲の値となるように、それぞれを設定することを特徴とする半導体露光装置の架台支持方法。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】請求項 4
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【請求項 4】 半導体露光装置を装置支持手段を介して搭載する架台を架台支持手段を介して建屋床に接続して構成する半導体露光装置の架台支持装置において、前記架台の質量と前記架台支持手段の剛性の積が、 $3 \times 10^{11} \text{ [kg/s]}^2$ より大きく $6 \times 10^{12} \text{ [kg/s]}^2$ より小さい範囲の値をとるように、前記架台および前記架台支持手段をそれぞれ設定して構成することを特徴とする半導体露光装置の架台支持装置。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0008
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【0008】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため、本発明の半導体露光装置の架台支持方法は、半導体露光装置を装置支持手段を介して搭載する架台を架台支持手段を介して建屋床に接続する半導体露光装置の架台支持方法において、前記架台および前記架台支持手段を、前記架台の質量と前記架台支持手段の剛性の積が $3 \times 10^{11} \text{ [kg/s]}^2$ より大きく $6 \times 10^{12} \text{ [kg/s]}^2$ より小さい範囲の値となるように、それぞれを設定することを特徴とする。

【手続補正 4】
 【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 1

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 1 】

さらに、本発明の半導体露光装置の架台支持装置は、半導体露光装置を装置支持手段を介して搭載する架台を架台支持手段を介して建屋床に接続して構成する半導体露光装置の架台支持装置において、前記架台の質量と前記架台支持手段の剛性の積が、 $3 \times 10^{11} [kg/s]^2$ より大きく $6 \times 10^{12} [kg/s]^2$ より小さい範囲の値をとるように、前記架台および前記架台支持手段をそれぞれ設定して構成することを特徴とする。